

第 10 回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容

林 定三

ご臨席の皆さま、こんにちは。これは台湾語では▼ジャバウエイ▲というふうに挨拶します。

私は台湾からまいりました、林定三と申します。本日は素晴らしい賞を受賞いただきまして大変光栄に存じます。

私は 1985 年にアメリカでライメックスという会社を設立いたしまして、輸出入の貿易を始めました。主に飼料や牧草などを日本と台湾などに輸出し、そして日本と台湾の食品をアメリカに輸入して販売しました。

2002 年、WTO の米市場開放に伴いましてお米の輸出入ができるようになりましたので、当時アメリカのお米を台湾に輸出しはじめました。また、日本に牧草を輸出したときに全農さまと取引したおかげで、2005 年から日本のお米を台湾に輸出する事業をはじめました。

日本産のお米の台湾店頭での販売価格ですが、台湾産のお米より 3 倍と高いんですけども、やはり日本米の味、香り、粘りなど品質がとても高いのでどなたでもおいしくいただけます。

品質のよいものであれば海外でも必ず評価を受け、値段が高くても必ずニーズがあるというふうに考えます。

しかしながら 2011 年に発生した福島原発事故の影響で台湾のお客さま、消費者にとって日本の農産物に対する放射能などの安全問題を懸念するようになりました。そこで台湾の消費者に安心させ日本の農家を信頼してもらうために、私は日本各地の農家を訪ねまして、空気中の放射能の数値を測定しまして、測定の結果および農家の現状を web サイトに載せまして、日本の農産物の安全・安心を台湾のお客さまに伝えておりました。

そしてやはり日本の農家の皆さま努力によりまして、高品質な農産物が栽培されていますことを、この場で日本の皆さま、日本の農家の皆さまに感謝したいと思います。常に感謝したいと思いますと考えております。

ここ数年、私どもがお米以外にも果物、調味料、飲料、お酒などを取り扱っておりまして、日本の地方自治体と協力し台湾市、高雄市などの百貨店で物産展などを開催しまして、実際に台湾の消費者に試食させ販売して台湾の消費者に日本の農産物を認識し、もっと好きになってもらいたいと考えています。

現在、農産物の輸入制限がかけられておりますが、これを早めに解除してもらいたいと願っております。残留農薬に関しましても現在、台湾と日本の検査方法の違いなどによりまして、日本の農産物の残留農薬が基準を超えているというような誤解、間違った情報が台湾にあります。ですので、日本が放射能などを測定し農産物をきちんと検査・管理していることを台湾にアピールしまして、安全であることをアピールして、そして理解してもらいたいと思います。そして福島県など県市の農産物の輸入禁止を早めに解除してもらいたいと思っ

います。

それと同時に、日本に対しても互恵の原則のもとで、より多くの台湾の農産物を輸入していただき、日本の農産物を台湾にも販売していただき、Win-Win 関係を構築していきたいと思えます。

最後になりますが、今後とも引き続き農家と協力しあって日本と台湾の農業の発展に尽力してまいりたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。